

ドラレコをはじめとした電装系パーツの取り付けやコーディングなどを行っているAWA。実店舗をもたず、出張施工を基本としている同店だが、なかでも売りと言えるのがコーディングによる機能拡張。特に前者は年間で500台以上を手掛けた実績もあることから、コンピューターの扱いには大きな自信を持つ。埼玉県内や隣県はもちろん、東北・甲信越・東海地方からの依頼もあるという実力派のショップだ。

「コーディングに関しては、まず車両の状況を把握することから始めます。その結果をオーナー様に説明してから実作業に移るので、エラーを見逃さないよう独自のテスターを用意するなど万全を期しています」と語るのは代表の栗飯原さん。コーディングのメニューも幅広く用意されており、まさに理想の仕様に変わることができる。

コーディング出張施工は、サービス料に定額制を採用しており、項目毎にお願いすることもできるが、最大3万5000円で無制限となる。分かりやすく安心してがあると評判も上々。ホームページで出張サービスエリアを見ることができ、エリア外であっても親身に対応してくれるので、まずは気軽に問い合わせしてほしい。

DATA



埼玉県久喜市桜田1-32-11 / 080-8166-1991 / 9:00~20:00 (不定休) / www.awa-coding.com
Instagram @a_w_a_a

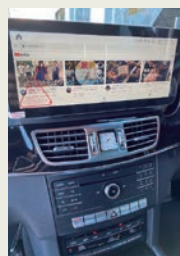
photo_中島仁菜 NAKAJIMA NINA
text_森田慎吾 MORITA SHINGO /
川口祐貴 KAWAGUCHI YUKI (eS4)



コーディング&電装パーツ取り付けの出張サービス。



エアマチック装着車(上:Before / 下:After)なら、コーディングによりローダウンが可能だ。コーディングの場合、ストローク数値による調整となるが、オーナーが求める仕様をヒアリングし、実際にフェンダー高を計測しながら、見た目の仕上がりにこだわった調整をしてくれる。



電装パーツの取り付けにも対応してくれるが、なかでもAndroidモニターの取り付けは人気だ。写真は、W212 Eクラス。ドライブ中にYouTubeなどを楽しめる。



インターフェースの取り付けにより、Apple CarPlayの使用が可能になる。スマートフォンのミラーリンクなども問い合わせが多いという。写真はVクラスだ。



標準装備となっている車種も増えてきたトラフィックサインアシスト。純正では装備されていないでも、コーディングにより追加することが可能な車種もある。



自動的に解除されてしまうエアコンの内気循環設定を固定する。こうしたかゆいところが手が届くサービスにより、愛車がより使い勝手のよい仕様へと生まれ変わる。



ワンタッチターンシグナルの回数変更や、デイトライト単体の点灯など灯火類のメニューも豊富に用意。メルセデスの場合、オートライトの鈍感化が特に人気だという。